

郷土の先人たち



加藤 清二郎
かとう せいじろう

1898(明31)年、旧白根市生まれ。1934(昭9)年に株式会社聚楽(じゅらく)を設立。東京都内を拠点にレストランを展開した。東京と新潟をつなぐ列車内の食堂のほか新潟にも外食産業を展開。戦後はホテル業にも進出した。



石山 賢吉
いしやま けんきち

1882(明15)年、旧白根市出身。1906(明39)年、慶應義塾商業高校を卒業。雑誌、新聞の各記者を経て、1913(大2)年に経済雑誌ダイヤモンド社を設立し、雑誌「ダイヤモンド」を創刊した。



吉田 醇一郎
よしだ じゅんいちろう

1899(明32)年、旧味方村出身。浅草で徒弟奉公しながら、日本画を山中敬中、時絵を植松包美に師事。再絵作品が帝展第11回展、第15回展で特選となる。戦後は日展で活躍。日展会員、評議員、審査員を務めた。



千野 茂
ちの しげる

1913(大2)年、旧白根市生まれ。彫刻家。1934(同9)年に上京、新海竹蔵に師事。1955(昭30)年に日本美術院同人に推挙される。1963(昭38)年には国画会会員、1976(昭51)年には東京芸術大学教授となり、その後、同校名誉教授となる。



佐藤 幸治
さとう こうじ

1937(昭12)年、旧月潟村出身の憲法学者。京都大学名誉教授。司法制度改革審議会会長や皇室典範に関する有識者会議のメンバーに選ばれるなど要職に就き、活躍している。



長井 亮之
ながい りょうし

1904(明37)年、旧白根市生まれ。日本画家。1967(昭42)年、院展にて奨励賞、白寿賞、G賞を受賞。1968(昭43)年、院展で特待に推挙される。その後、新潟日報文化賞受賞。晩年は朱鷺を描き続け、「朱鷺の画家」として知られている。



平澤 興
ひらさわ こう

1900(明33)年、旧味方村生まれ。1924(大13)年、京都帝国大学医学部を卒業。研究を重ね、1930(昭5)年には新潟医科大学教授となった。脳脊髄の「鍾体外路系」の研究が世界的に認められる。第16代京都大学総長。



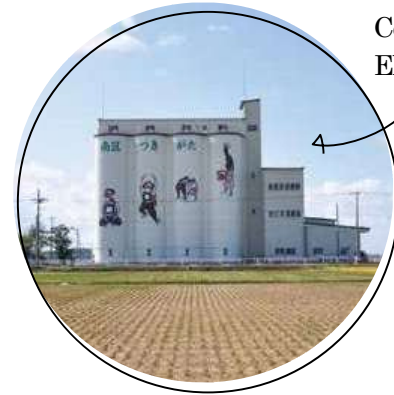
曽我 量深
そが りょうじん

1875(明8)年、旧味方村生まれ。仏教思想家。1941(昭16)年には東本願寺最高の学階である真宗大谷派講師を任せられる。1961(昭36)年、大谷大学学長に就任し、以降6年の任期を務めた。1965(昭40)年、勲三等瑞宝章を受章。



田沢 実入
たざわ みのり

1852(嘉永5)年、旧白根市生まれ。一度は中止となった大河津分水工事再開に向けて、1882(明治15)年に父與一郎らと「信濃川分水仮会社(後に信濃川治水会社と改称)」を設立し、その完成に大きく尽力した。



Country Elevator



Beautiful!
"MINAMIKU"

合併の沿革 ~南区の成り立ち~

- 1901(明治34)年 味方村・白根村・七穂村が合併して味方村となる
- 1906(明治39)年 秋津村・曲通村・中合村が合併して月潟村となる
- 1955(昭和30)年 白根町・庄瀬村・小林村・白井村・茨曾根村・鶯巻村・根岸村・大郷村・新飯田村が合併して白根町となる
- 1959(昭和34)年 白根町が白根市となる
- 2005(平成17)年 白根市・味潟村・月潟村が新潟市に合併
- 2007(平成19)年 区制移行で、白根支所・味方支所・月潟支所の所管区域の大半、南地区事務所・中之口支所の所管区域の一部が南区となる

データで見る南区

1人口

総人口	44,905人
男	21,864人
女	23,041人

※平成30年12月末現在(住民基本台帳)

2世帯数

世帯数 16,019世帯

※平成30年12月末現在(住民基本台帳)

3面積

区総面積 100.91km²

※国土院資料

4土地利用

田	57.7%
畑	13.6%
山林	0.1%
水面	3.4%
他の自然地	3.9%
宅地	10.1%
道路・公共 公益用地等	11.3%

※平成26年都市計画基礎調査

Access Map

